

作成年月日	平成23年8月8日
作成部局 課室名	産業労働部観光・国際局国際交流課

知事の海外出張概要（西オーストラリア州）

井戸敏三兵庫県知事は、8月3日（水）から7日（日）までの5日間にわたり、オーストラリア西オーストラリア州のパース市及び州北西部ピルバラ地区（カラサ市ほか）を訪問した。

パースでは、昭和56年6月に締結した西オーストラリア州との姉妹提携が30周年を迎えることから、これまでの交流の成果を確認し、さらなる交流促進を約し、同州首相との間で共同声明に調印した。これに併せて県内各層からの交流団も同州を訪問し、西豪州民とともに30周年を祝い、草の根交流を行った。

また、パースで「ひょうごセミナー」を開催し、東日本大震災の風評被害の払拭、兵庫の投資環境・観光等のPRを行った。

さらに、本県企業の鉄鉱石の輸入先でもあり、また、日本経済を支える同州最大の鉄鉱石の産地であるピルバラ地域の鉱山視察を行った。【全体日程は、添付資料参照】

1 西オーストラリア州姉妹提携30周年記念事業

（1）コリン・バーネット西オーストラリア州首相との交流協議

日 時：平成23年8月5日（金）16:30～17:30

場 所：首相府（パース市内）

出席者

（西オーストラリア州側）

コリン・バーネット首相、サイモン・ヘルム主席政策補佐官、リチャード・メイ副主席補佐官ほか

（兵庫県側）

井戸敏三知事、加茂忍県議会議長、中田勝久南あわじ市長、田中敬一観光・国際局長、川鍋彰男西オーストラリア州・兵庫文化センター所長、小川雅啓同名誉所長ほか

内 容：

井戸知事はコリン・バーネット首相を訪問し、これまでの30年にわたる両県州の姉妹提携の成果を確認するとともに、今後の交流促進について意見交換を行い、両県州が今後とも、教育・文化・経済・芸術・青少年交流など幅広い分野にわたり交流を発展させることに合意した。

井戸知事は、東日本大震災への西豪州からの支援・激励に対する謝意とともに、ピルバラ地区を訪問した印象として、「鉄鉱石やLNGに代表される西豪州の資源がまさに日本の経済を支えていると実感した。西オーストラリア州と日本経済の緊密な関係が東日本大震災からの1日も早い復興につながると確信した。」と述べた。

また、井戸知事は、「30周年はこれまでの交流実績を互いに確認する契機であり、次の30年のスタートでもある。両県州のさらなる交流促進を確信している。」と述べた。

さらに、西豪州からのコアラの寄贈に謝意を表し、寄贈された4頭のコアラの愛

称が多く的一般公募のなかから『ゆめ・みらい・のぞみ・ゆうき』に決まったことや記念切手が発行されるなど、コアラが大歓迎されていることを紹介された。

バーネット首相は、「鉄鉱石の貿易から始まった両州の姉妹交流はこの 30 年間に相互の事務所の設置や学生交流、播州織などの地場産交流、庭園の整備、コアラの寄贈など幅広い分野に及んだこと及び今後の交流の一層の拡大・継続が重要である。かつての 2 度の兵庫県を訪問し、歓迎を受け、非常に有意義なものであった。」と謝意を表された。また、「コアラの寄贈は難しかったが、私の牧場にもたくさんいるカンガルーを次は寄贈したい」と述べた。

さらに、井戸知事から「姉妹提携 30 周年を記念して、西オーストラリア州に兵庫県の特産品である淡路瓦を活用した日本庭園などのモニュメントを整備したい。また、カンガルーの受入れを行いたい」と述べるとともに、「感謝と友情」をテーマに 11 月に開催される神戸マラソンへの西豪州ランナーの参加を要請した。

バーネット首相からは、青少年の参加を検討する旨、合同レセプションの席で表明された。



バーネット首相と姉妹交流の推進について協議

(2) 「兵庫県・西オーストラリア州姉妹提携 30 周年記念共同声明」調印式及び合同レセプション

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（金）18:00～20:00

場 所：「オールド・ブリュワリー」レストラン（パース市内）

出席者：

（西オーストラリア州側）

バーネット首相、バリー・ハウス上院議長、州政府大臣ほか 約 150 名

（兵庫県側）兵庫県訪問団（友好代表団、議会訪問団、県民交流団、南あわじ市訪問団、町村会訪問団、県立大学訪問団、教育委員会訪問団）約 50 名

（その他）

佐藤重和在オーストラリア日本国大使、石川達雄在パース日本国総領事ほか

内 容：

冒頭、東日本大震災の犠牲者に対して黙祷が行われ、先住民アボリジニによる歌と演奏で式典が始まった。

式典挨拶において、バーネット首相は、「30 年前の鉄鉱石の輸出から始まった両州の交流は、教育、共同研究、文化、芸術など成熟した幅広い分野にわたる交流へと

発展した。30周年を契機にさらなる交流の促進を図りたい。今年の3月にコアラを寄贈した時に、兵庫を訪問したが、コアラに触れる子供たちの笑顔がとても印象に残っている。」と述べられた。また、「今年11月に開催される神戸マラソンには同州の選手を参加させたい。」と表明された。

続いて井戸知事は挨拶で、「30周年は経過地点であり次の30年に向けての折り返しのスタート、これからもあらゆる分野で交流を促進していくことを約束する。両県市内市町間では、現在、唯一ロッキンハム市と赤穂市が姉妹提携をしているが、コアラを縁として南あわじ市とワナルー市（*コアラを飼育するヤンチャップ公園の所在地）が姉妹関係になることを期待している。」と述べた。さらに、井戸知事は、東日本大震災への同州からの激励と義捐金による支援に対する謝意とともに、前日の州北西部ピルバラ地区の鉄鉱石採掘現場視察の印象に合わせ、「西豪州の資源が日本経済を支え、東日本大震災の支援につながっていく。」と述べた。最後に、「これからもさらなる交流拡大を進めていくことを約束したい。」と述べ、

『日豪の架け橋ならん両州県 未来の世界我らが築かん』

との和歌を披露し、挨拶を締めくくった。

続いて、多数の両県州民の見守る中、井戸知事とバーネット首相が共同声明に調印。立会人として加茂県議会議長とハウス上院議長が署名を行い声明文書の交換が行われ固い握手が交わされた。

式典・レセプションには、各訪問団員が西オーストラリア州民と親しげに話しあう場面が多数見られ、また、リチャード・コート前首相の姿もみられるなど、両県州の交流の長い歴史を感じさせるものとなった。



共同声明に調印する知事、首相、県議会議長、上院議長

共同声明調印後握手を交わす知事と首相



交流を深める両県州民



バーネット首相と記念撮影する県民交流団

《共同声明の内容》

兵庫県・西オーストラリア州姉妹提携30周年共同声明

兵庫県と西オーストラリア州との姉妹提携 30 周年を記念して、井戸敏三兵庫県知事及びコリン・バーネット西オーストラリア州首相は 2011 年 8 月 5 日、西オーストラリア州パースにおいて会談し、1981 年 6 月 23 日に両県州首脳が調印した協定書に基づく姉妹提携の成果を確かめ合うとともに、今後の両県州の姉妹提携関係を一層深めるために意見を交換した。

両県州の積み重ねてきた交流は、友好訪問団の相互派遣や両県州事務所の相互設置をはじめ、西オーストラリア州によるコアラの寄贈や兵庫県による日本庭園の整備、大学洋上セミナーによる交流、HUMAP や語学教員の交換等による教育交流、兵庫県立大学とカーティン大学など大学間の学術交流、鉄鉱石・LNG 等の資源取引や地場産業間の連携等による経済交流など、幅広い分野に及んでいる。

姉妹提携 30 周年にあたっては、西オーストラリア州からは首相が兵庫県を訪問し、コアラを兵庫県に寄贈したほか、兵庫県からは知事をはじめとする友好訪問団が西オーストラリア州を訪れ、西オーストラリア州研究者を受入れる制度の新設、西オーストラリア州に兵庫県の特産品である淡路瓦を活用したモニュメントの贈呈を表明するなど、姉妹提携 30 周年を祝した。

こうした成果を踏まえ、今後両県州は、アジア太平洋地域のパートナーとして相互のさらなる発展と世界平和を願い、人と人との草の根交流による相互理解が国際交流の原点であるとの認識のもと、下記の方針に沿って交流を一層充実させることに合意した。

記

- 1 両県州は、両地域の交流を活発化させるため、相互の人・物・情報の交流の発展に努め、教育、文化、経済、芸術、青少年交流など一層の交流促進に努める。
- 2 両県州は、両地域のさらなる経済発展に向けて、資源取引の促進はもとより地場産業の相互振興を図るほか、交易や投資の拡大など経済交流の増進に努める。
- 3 両県州は、相互訪問を通じた交流機会の増加に向けて、それぞれの観光振興に協力するとともに、関西国際空港とパース国際空港の間の直行便開設に向けて必要な努力を行う。
- 4 両県州は、姉妹自治体等が行う生徒の交流・研修や文化事業、民間友好団体による親善活動などの主体的かつ自主的な交流を助長・支援する。
- 5 両県州は、教育・学術・研究の相互交流を促進し、兵庫県内の大学と西オーストラリア州内の大学との交流活動を支援し、研究者、留学生の受入などを通じて、人材育成の推進に努める。
- 6 両県州は、それぞれが相手地域に設けている事務所の活動に対して、最大限の支援と便宜を提供する。
- 7 両県州は、地球環境問題、感染症等の疾病や大規模災害などの世界規模の課題解決に向けて、互いに協力する。

以上のことを確認し、2011年8月5日、兵庫県友好訪問団員及び西オーストラリア州関係者出席のもとに、本共同声明に署名する。

【署名】兵庫県知事 井戸 敏三

西オーストラリア州首相 コリン・バーネット

【立会人】兵庫県議会第 114 代議長 加茂 忍

西オーストラリア州上院議長 バリー・ハウス

2 経済・学術交流の推進

(1) ひょうごセミナーの開催

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（金）12:30～14:00

場 所：パメリア・ヒルトンホテル（パース市内）

出席者：（約 80 名）

（地元経済界側）

キャシー・クジンスキー パース・ロータリークラブ会長、ブルース・ヘンシヨウ国際担当部長ほか

（兵庫県側）

井戸知事、田中観光・国際局長、川鍋所長、小川名誉所長ほか

内 容：

井戸知事は、パース企業を中心としたパース・ロータリークラブにおいて、約 80 名参加のもと、ひょうごセミナーを開催した。最初に、同クラブ会長のクジンスキー会長から、兵庫県とパースとの経済交流促進に対する期待する旨の挨拶があり、続いて、井戸知事より、「西オーストラリア州と兵庫県の交流は教育、文化、経済、芸術など幅広いものになっている。また、東日本大震災への同州からの支援に感謝する。5 か月を経過しようとしているがようやく復旧・復興の道筋がついた。日本は危険な場所ではない。」と挨拶。引き続き、本県の概要、本県と西オーストラリア州との交流、本県の企業立地、観光の魅力について、パワーポイントによるプレゼンテーションを行った。



プレゼンテーションする知事



セミナー風景

(2) ピルバラ地区の視察

日 時：平成 23 年 8 月 4 日（木）

場 所：ピルバラ地区 カラサ、パナウォニカほか

出席者：

（リオ・ティント社側）

ジャック・佐藤チーフ・オペレーション・オフィサー、ジョン・C・ヒューズ所長ほか

（兵庫県側）

井戸知事、田中観光・国際局長、川鍋所長ほか

内 容：

西オーストラリア州経済の牽引役となっている同州最大の鉱物資源地区ピルバラ地区を訪問、資源メジャー大手リオ・ティント社の鉄鉱石採掘現場を視察した。

パースから北に、飛行機で約2時間の拠点都市のカラサから採掘現場のパナウォニカ（*鉱山従事者の居住区）まで小型飛行機で移動し、メサJ（*スペイン語で台形の意味）と呼ばれる鉱山の視察を行った。パナウォニカは常時人口700人程度とのことであるが、天然ガスによる発電など、高熱水すべてを自給しているとの説明があった。

鉄鋼石の鉱山は坑道の中から掘り出すイメージをしていたが、露天掘であり、次のような作業が進められていた。

メサという台形の小山の鉄鋼石を上から順に削っていく。（上部の方が上質な鉄鋼石）

その鉄鋼石を含んだ土を大きな洗濯機のような装置で水洗いして不純物を取り除き、その後、3段階に分けて砂のような状態まで砕いていく。

その鉄鋼石は3連のディーゼルカーに連結された約200両の貨車（約2.5キロメートル）で約200キロ離れた積み出し港まで運ばれ、その後ベルトコンベアーで海上を運ばれ、大型専用船に積み込まれ海外に輸送される。

井戸知事は、鉄鉱石を運搬する250トンの大型トラックに試乗し、実際の鉄鉱石採掘作業を体験した。

その後、カラサに戻り、ヘリコプターにより、ダンピア、ランバートの2か所の積み出し港、LNG（液化天然ガス）施設、工業用塩田などを上空から視察した。

鉄鋼石、LNGという日本経済をささえる資源の積み出し港を上空から視察する機会を得た。

同地区では、年間2億2千万トンもの鉄鉱石が採掘されており、かつては日本が最大の輸出国であったが、現在では、その半分以上の鉄鋼石が、経済発展を続ける中国に輸出され、中国が一番の輸出国であるとの説明があった。

また、世界的な鉄への需要の高まりによる増産により、労働力が不足しており、オーストラリア全土から飛行機で労働者が集まっており、人件費が高騰しているとの説明があった。また、飛行機で移動する労働形態は、「フライイン・フライアウト」と呼ばれ、約2週間続けて働いて、その後10日ほど休むという形態が取られている。

現地で行われる採掘、鉄道輸送、港湾での積み出し作業等はコンピュータ管理による遠隔操作が行われており、パースに遠隔操作の拠点が整備され、集中管理による効率化が図られ、現地では可能な限り小人数での操業となっている。また、リオ・ティント社では「シートベルトをしなければ車を発進させない。」など、「Nothing more than Safty」（安全に勝るものは存在しない）のもと、徹底した安全管理が行われていた。



鉄鉱石採掘現場を視察する知事



大型トラックに知事乗車



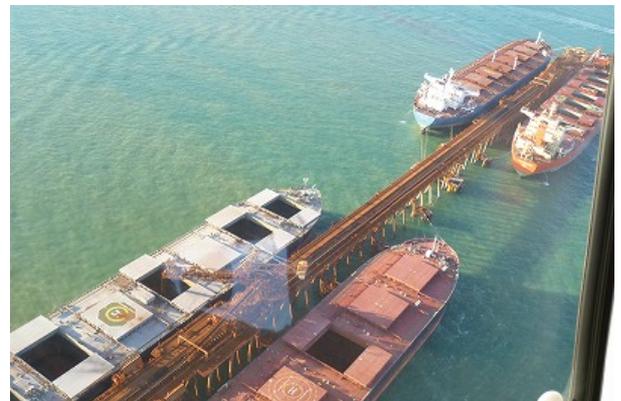
精錬作業



輸送貨車



視察用ヘリコプター



鉄鉱石積み出し港

(3) カーティン大学訪問

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（木）10:30～11:10

場 所：カーティン大学（パース市内）

出席者：

（カーティン大学）

ジム・ギル名誉学長、デイビット・マッシュ教授、ミング・アング教授ほか
（兵庫県側）

井戸知事、田中観光・国際局長、川鍋所長、小川名誉所長、清原正義兵庫県立
大学学長ほか

内 容：

兵庫県立大学と学術交流協定を締結している西オーストラリア州最大規模のカ

ーティン大学を訪問し、ギル名誉学長と面談を行い、兵庫県立大学との交流を一層進めることについて確認した。

ギル名誉学長からは、「カーティン大学と兵庫県立大学の交流は活発に行われており、誇るべき関係である」と述べ、これに対して、井戸知事は、「両大学の交流は新しい時代を拓くもの、是非継続してほしい。」と述べた。これに対してギル名誉学長は「学生の交流を是非進めたい。」と述べた。

その後、両大学の学術交流セミナーのポスターセッションの視察を行った。両大学の研究者によるアルツハイマー病、化学工学、ツーリズムの持続可能な発展、気候変動緩和のための世界的規制枠組みなどをテーマとした互いの研究発表が紹介されていた。



ギル名誉学長との面談

3 関連行事

(1) 西オーストラリア州総督との面談

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（金）14:30～15:00

場 所：西オーストラリア州総督府（パース市内）

出席者：

（西オーストラリア州側）

マルコム・マクカスカー州総督夫妻

（兵庫県側）

井戸知事、田中観光・国際局長、川鍋所長、小川名誉所長ほか

内 容：

マクカスカー総督は、井戸知事の来訪を歓迎されるとともに、東日本大震災の津波の被害の回復状況を気遣われた。これに対して、井戸知事は「西オーストラリア州から温かい支援をいただいております、感謝申し上げます。震災から5カ月が経過し、政府の復旧・復興の取り組みが進んでいるが、大きな被害であり、まちづくりの基本方針を定めて復旧・復興を図っていることが課題になっている。」と述べた。

総督は、兵庫県と西オーストラリア州に代表される両国の友好関係がますます発展することへの期待を表明された。



マクカスカー州総督を表敬訪問

(2) 西オーストラリア州議会上院議長との面談

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（金）15:20～15:50

場 所：西オーストラリア州議会上院（パース市内）

出席者：

（西オーストラリア州側）

バリー・ハウス上院議長、マット・ベンソン副議長

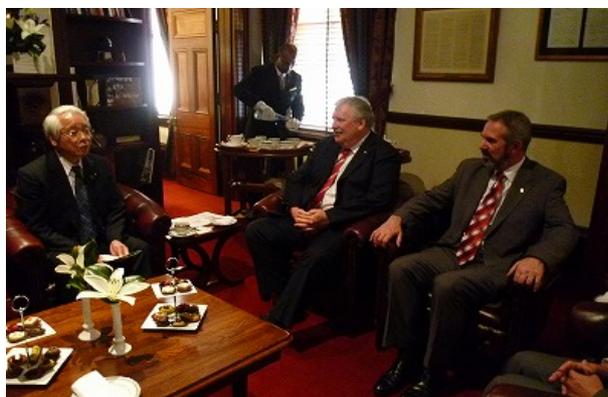
（兵庫県側）

井戸知事、中田南あわじ市長、田中観光・国際局長、川鍋所長、小川名誉所長、
ほか

内 容：

ハウス議長は、「両県州のこの絆を大切にしていきたい。以前、ロータリークラブの訪問団で、兵庫県の神戸、生野、城崎、淡路を訪問して温かいおもてなしを受けた。」と述べ、これに対して井戸知事は、「先ほど、パース・ロータリークラブでゲストスピーカーとして話をしてきた。経済、文化など幅広い交流が 30 年続いているが今後もさらに深い交流関係を築きあげていきたい。」と述べた。

前日、兵庫県議会訪問団と交流を行っており、議長は、今後さらに兵庫県議会との交流を進め、両県州の交流を促進したい旨の表明をされた。



ハウス上院議長（中央）を表敬訪問

(3) 西オーストラリア州議会下院議長との面談

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（金）16:00～16:20

場 所：西オーストラリア州議会下院（パース市内）

出席者：

（西オーストラリア州側）

グランド・ウッドアムス下院議長ほか

（兵庫県側）

井戸知事、中田南あわじ市長、田中観
光・国際局長、川鍋所長、

小川同名誉所長、ほか

内 容：

ウッドアムス下院議長は「両県州の交
流の成果は素晴らしいものであり、30 周

年は今後の交流の契機になる。東日本大震災で今年 3 月に予定していた兵庫県への議員団の派遣は、断念せざるを得なかったが、今年の 10 月に兵庫県に派遣を行う予定である。」と述べられ、これに対して井戸知事は、「私たちも 10 年前アメリカの 9.11 のテロの時に、海外への訪問を非常に心配したが、そのような時だからこそパースを訪問した。今回の皆様の訪問を感謝し、歓迎する。」と述べた。

前日、兵庫県議会訪問団と交流を行っており、今後さらに兵庫県議会との交流を進め、両県州の交流を促進したい旨の表明をされた。



ウッドアムス下院議長を表敬訪問

(4) 在オーストラリア日本国大使との面談

日 時：平成 23 年 8 月 5 日（金）8:30～9:30

場 所：ハイアット・リージェンシー・パースホテル（パース市内）

出席者：

（在オーストラリア日本国側）

佐藤在オーストラリア日本国大使、石川在パース日本国総領事

（兵庫県側）

井戸知事、田中観光・国際局長、川鍋所長ほか

内 容：

西オーストラリア州にあるレアアースの日豪共同鉱山開発プロジェクトのオープニングセレモニー出席のため同州を訪問していた佐藤大使から「オーストラリア経済は、鉄鉱石など資源産業が好調であり、元気がある。リオ・ティント社はじめ西豪州の資源の日本経済への影響は非常に大きい。また、レアアースもこれまで中国が独占してきたが、オーストラリアでも生産開始になった。」などオーストラリア経済の現状について、情報提供を受けた。

また、石川総領事からは「兵庫県と西オーストラリア州の交流に高い評価に値する。西オーストラリア州には現在約 7,000 人の日本人がいること、また、鉄鉱石など資源産業が好調であり、労働者不足、賃料も高騰している。」など、西オーストラリア州の経済状況等について説明があった。

(5) パース補習授業校訪問

日 時：平成 23 年 8 月 6 日 (土) 10:30 ~ 11:00

場 所：パース補習授業校 (パース市内)

出席者：

(パース補習授業校側)

福本智晴教頭 (校長代理) ほか

(兵庫県側)

友好訪問団、議会訪問団、南あわじ市訪問団、町村会訪問団、教育委員会訪問団

内 容：

パース市内の現地校に通う 5 歳から 12 歳になる 120 名の生徒が毎週土曜日の午前中、パース補習授業校で日本語の授業を受けており、その授業風景を視察した。

その後、アセンブリーホールにおいて、生徒の代表からの歓迎挨拶があり、井戸知事からは、これからも日豪交流の架け橋という役割を担ってほしいとの励ましの言葉を贈った。



知事激励挨拶



生徒代表挨拶

(6) 兵庫文化交流センター訪問(エッセイコンテスト受賞式)

日 時：平成 23 年 8 月 6 日 (土) 11:00 ~ 11:30

場 所：兵庫文化交流センター (パース市内)

出席者：

(西オーストラリア州側)

エリザベス・コンステイブル西オーストラリア州教育大臣、受賞者 (高校生 3 名、小中学生 3 名) ほか

(兵庫県側)

友好訪問団、議会訪問団、南あわじ市訪問団、町村会訪問団、教育委員会訪問団

内 容：

姉妹提携 30 周年を記念して、西オーストラリア州と兵庫文化交流センターとの間で、兵庫県への訪問をテーマとしたエッセイコンテストが行われ、高校 39 人、中学生 199 人、小学生 40 人から 278 作品の応募があり、選考会の結果、高校生 3 人、中学生 1 人、小学生 2 人が優秀賞に選ばれた。その式が今回の友好訪問団等の訪問に併せて実施され、知事から優秀賞の授与が行われた。

「兵庫県を訪問するならどんな行程を組みますか」というタイトルでコンテストが行われたが、井戸知事からは「兵庫県知事が知らないことが書いてあって驚いた。皆様が先生です。3人の兵庫県を訪問する高校生の受賞者は本物の兵庫県を経験して仲間の皆様に話をしてください。また、小中学生の受賞者は、今後、兵庫を訪ねていただくことを期待している。」と挨拶を行い、また、加茂議長からは「実際に訪問した旅行体験記と間違えるほど、よく書けている。」と受賞者のそれぞれの作品の感想を交えた挨拶が行われた。



エッセイコンテスト受賞式

(7) コアラ飼育員への感謝状贈呈

日 時：平成 23 年 8 月 6 日（土）11:30～12:00

場 所：兵庫文化交流センター（パース市内）

出席者：

（西オーストラリア州側）

ジョン・ウイラー ヤンチャップ国立公園シニアレンジャー

（兵庫県側）

友好訪問団、議会訪問団、南あわじ市訪問団、町村会訪問団、教育委員会訪問団

内 容：

今年 3 月の兵庫県に寄贈にコアラの搬送、飼育に尽力をいただいたヤンチャップ国立公園のウイラーシニアレンジャーに知事から感謝状を贈呈した。

ウイラーシニアレンジャーからは、答礼にとコアラの写真パネルが贈呈された。



知事からウイラー氏に感謝状の贈呈



ウイラー氏からパネルの贈呈

4 その他の行事

(1) シンガポール兵庫県人会との懇談

日 時：平成 23 年 8 月 6 日（土）22:40～23:30

場 所：「マリーナ・ベイ・サンズ」内カフェ

出席者：藤井勤（会長）、奥田泰之（副会長）、
奥野克恭（ゴルフ担当）、山中尚子
（親睦会・イベント担当）、多田納史郎
（会計担当）、森井卓（ボウリング担当）、
井戸知事、田中観光・国際局長、
足達雅英自治体国際化協会（CLAIR）
シンガポール所長、同協会菱田裕史所長
補佐（兵庫県から出向）

内 容

シンガポールでのトランジットの時間に、シンガ
ポール兵庫県人会（兵星会）幹部との懇談を行った。



マリーナ・ベイ・サンズで県人会
メンバーと記念写真

(2) マリーナ・ベイ・サンズ視察

日 時：平成 23 年 8 月 6 日（土）22:10～22:30

場 所：マリーナ・ベイ・サンズ

出席者：井戸知事、田中観光・国際局長、足達所長、菱田所長補佐

内 容：

CLAIR 足達所長の案内でマリーナ・ベイ・サンズ及びその中に設置されたカ
ジノの視察を行った。

シンガポール在住者は 100 シンガポールドル（約 6,500 円）が必要であるが、外国人
は入場無料であった。

マリーナ・ベイ・サンズは、昨年 4 月にオープンした 3 棟のホテル・カジノ、コンベン
ションセンター、ショッピングモールなどを備える複合施設。3 棟の屋上をつなぐ約 340m の長
さの船型庭園にある 200m の高さにある空中プールは日本の CM でも紹介された。

【連絡先】

産業労働部観光・国際局国際交流課

課 長 緒方 孝昭 内線 2092

副課長 水口 典久 内線 2093

TEL：078-362-9016 FAX：078-362-3961

5 参考

(1) 西オーストラリア州姉妹提携訪問団

友好代表団	5名(団長：兵庫県知事 井戸 敏三)
議会訪問団	12名(団長：兵庫県議会議長 加茂 忍)
県民交流団	20名(団長：戸田 氏懿)
南あわじ市訪問団	6名(団長：南あわじ市長 中田 勝久)
町村会訪問団	4名(団長：多可町長 戸田 善規)
県立大学訪問団	7名(団長：兵庫県立大学長 清原 正義)
教育委員会訪問団	3名(団長：教育次長 大久保 博章)

(2) 日程

日	日程	宿泊地
8月3日 (水)	関空発 シンガポール着 シンガポール発 パース着	パース泊
8月4日 (木)	パース発 ピルバラ地区着 鉄鉱石採掘場視察等 ピルバラ地区発 パース着	パース泊
8月5日 (金)	在オーストラリア日本国大使との面談 カーティン大学訪問 ひょうごセミナー開催 西豪州総督表敬訪問 上下両院議長表敬訪問 西豪州首相との交流協議 共同声明調印式及び合同レセプション	パース泊
8月6日 (土)	パース補習授業校訪問 兵庫文化交流センター訪問 パース発 シンガポール着 マリーナ・ベイ・サンズ(カジノ等)視察 シンガポール兵庫県人会との懇談会	
8月7日 (日)	シンガポール発 関空着	機内泊

(3) ひょうごセミナーでの説明資料 別添のとおり